

# ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



## 2018～2019 年度 大宮西ロータリークラブ週報



創 立：1963年3月22日 会 長 新井 清太 第2588例会 2019/ 2/ 4  
例会場：パレスホテル大宮 幹 事 新藤 栄介 発行 日 2019/ 2/25  
例会日：月曜日 12:30～13:30 公共イメージ 向上委員会 川井 理砂子 週報 当 番 川井 理砂子

## 会長あいさつ

### 「平和と紛争予防／紛争解決月間」

会 長 新井 清太

今日から2月度でございます。本日2月4日は立春ということで暦の上ではもう春であります。

今月は平和と紛争予防／紛争解決月間となりますが、

現在でも世界のあちらこちらで紛争が絶えないわけですが、我々ロータリアンが平和のために何ができるかが重要であると考えます。

留学生のゾーイさんはこのところ地区行事にも積極的に参加してくれていますので、後ほど報告を楽しみにしてください。ナジム君は残りあと2ヶ月ですのでどうぞ宜しくお願いします。

今週は8日から13日まで韓国インターアクト訪日団が来日します。クラブでは顧問教師の方をホストすることになっていますので、ご協力お願い致します。そして来週14日はIM（インターンティミーティング）であります。初めての方もいらっしゃると思いますが、グループ内のロータリアンが一堂に会して行われる会合であり、今年は第3グループと第4グループの合同開催となっており、他クラブの方と大いに親睦を深める良い機会となりますのでどうぞ宜しくお願い致します。



## ロータリーの目的・4つのテスト

<本日のリーダー>

国際奉仕委員会 冷牟田 正見 会員

## 青少年交換留学生・米山奨学生紹介

伊田雄二郎 副会長

米山記念奨学生

ムハマド・ナジム・ムハマド・シュクリ 君

青少年交換留学生

ゾーイ・パーディス・ステファンス さん

## 誕生日祝い 2月生まれ

渋谷廣慶(4日)、天池健二(5日)、矢部正博(7日)、石井 敦(7日)、田村慶太(9日)、石丸主憲(10日)、染谷義一(21日)、富加見俊彦(27日)、野口 裕(25日)、胡 平(26日)、齋藤 實(28日)、高橋真貴子(28日)各会員



お誕生日、おめでとうございます

## ロータリーの旅を楽しもう！

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル4F

TEL. 048-871-8881 FAX. 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



## 幹事報告

幹事  
新藤 栄介 会員



- 確定申告用の領収書、財団と米山の寄附金2件分を配布しました。
- 14日(木)第3・4グループ合同IM、15:30点鐘です。
- 18日(月)はIM振替休日、次回例会は25日(月)です。
- 3月の例会予定表も本日配布します。
- 3月18日は門田隆将ゲスト卓話例会。11:30より食事、例会は12:00~13:30。
- 今年度の部会申請について、各部長さんに運営費の把握と新会員の勧誘をお願い致します。今月中までにご連絡ください。
- 2月のロータリーレートは1ドル110円です。

## 青少年交換留学生 近況報告

青少年交換留学生  
ゾーイ・パーデイス・ステファンスさん



みなさん、こんにちは。  
やく6ヶ月間日本に住んでいます。毎月新しいことを学び素晴らしい思い出を作ります。日本が大好きです。ホストファミリーと学校がいいです。最近旅行しました。1月20日から1月22日までホストマザーと一緒に大阪に行きました。観光に行ったりたくさんのお食を食べたりしました。フグとたこ焼きを食べました。すごく美味しかったです。多くの有名な場所を見ることができました。例えば、大阪城や道頓堀や通天閣に行きました。22日にユニバーサルスタジオに行きました。たくさんジェットコースターを乗ってザウィザードキングダムオブハリポッターを見ました。ハリポッターの本と映画が好きです。だから素晴らしくて楽しいと思いました。帰るとき新幹線に乗りました。初めて新幹線に乗ったら、それはとても楽しかったです。三月にまた新幹線に乗ります。これが楽しみにしています。先週の金曜日にも旅行しました。ロータリーの留学生と一緒にスキーをするために長野県に行きました。最初にスキーができませんでした。でも、スキースクールに入ってどのようにスキーをするか学びました。難しかったけど楽しかったです。最後の日に私は二回だけこぼしました。ロータリーをかんしゃしています。今年にはたくさんの素晴らしい機会がありました。いつもありがとうございます。

## ロータリーの友の解説

公共イメージ向上委員会  
委員長 川井理砂子 会員



### 【縦組み】

#### P3 RI会長のメッセージ

バリー・ラシン会長は、世界各地を旅しながら、クラブ、地区を多数訪問されているとのこと。その中で、活気にあふれたクラブが多数ある一方で、「社交クラブと何ら変わらないロータリークラブもありました。」と指摘。「そうであってはならない。」「どんなクラブにも再活性化を図る簡単なアプローチがある。」と訴えています。簡単なアプローチの例とされているのは、ハイチの助産師さんたちにジープを寄贈し、人里離れた地域に暮らす妊婦を訪問する手段を提供することでした。これは、まさに大宮西ロータリークラブが、三光ソフラン、全国賃貸管理ビジネス協会とともにラオフレンズ小児病院に対して行ったことと重なります。来る3月には、鉄道博物館の事業も控えております。当クラブが、ほんの少しでも「変化をもたらす奉仕プロジェクト」を担えているとすれば、誇らしいことだと感じます。

#### P8 特集「難民問題」

皆さんは「着の身着のまま、命からがら逃げ延びた」という経験はありますか？私は生まれてこの方皆無です。P8~P10には、内戦等を契機に、身の回りの荷物だけを持ち、数十kmにおよぶ避難を余儀なくされた3人の人々のストーリーが掲載されています。P11をご覧ください。1983-1984まで、財団の奨学生であった中村恵さんが、現在、国連UNHCR協会ですべて仕事をしています。UNHCRとは、国連難民高等弁務官事務所のことで、日本初の弁務官である緒方貞子さんのニュースで記憶の方もいらっしゃるのではないかと思います。中村さんは、ロータリーの活動の中で、例えば青少年奉仕活動として、何か企画ができないかと呼びかけています。

かつて、大宮西ロータリークラブは、ラオスの内戦から逃れてきた難民の方達を受け入れるキャンプを運営した実績があり、メンバーの岡部君は、学校の同級生にラオスの子がいたと話していました。災害大国に住む私たちは、いつ、「着の身着のまま、逃げ延びなければならぬ」状況となるかわからないという意味で、決して縁遠い問題ともいえません。これを機に、この問題にご関心を寄せていただけたらと思います。

## 【横組み】

P 6 8 「クラブを訪ねて」

秩父ロータリークラブです。秩父ロータリークラブは、創立54年。会員数は51人。同クラブは、シバザクラの丘の近くに、自治体の協力のもと「ロータリーの森」を作りました。これは、1995年、南米のペルーとエクアドルの国境紛争が続いていた当時、当時のRI会長が、両国のガバナーを国際協議会会場の壇上へ上げて「ピース、ピース」と叫び、これが両国紛争のきっかけとなったという出来事があり、これを目の当たりにしていた当時のガバナーエレクト金子さんが「友情の森をつくりたい」と提案したものであるとのこと。シバザクラ観光の折には、是非、ロータリーの森にもお運びいただけたらと思います。

## イニシエーションスピーチ

### 野口 裕 会員

1975年、山梨県に生まれました。その後3歳の時に両親が離婚、小学生時代は酷いじめをうけ、もう生きていたくないと思ったのが小学校4年生の時です。さらに中学2年のとき、母親に悪性ガンが見つかりました。なんで私だけこんな目に合うのかと。経済的にも余裕がなく、新聞奨学生として奨学金をもらいながら建築の専門学校に進学しました。毎朝2時起き、夕刊、集金、勧誘、と過酷な労働条件で新聞配達を続けているうちに身体を壊し、半年で体重は20kg落ちました。学校も退学せざるをえなくなり最初の挫折を味わいました。学費の返済のためパチンコ店で真面目に働き完済し、その後「手に職が欲しい」と考え18歳の時に小さな建設会社で大工として働き始めました。ところが入社後、社長に「もう来ても来なくてもいい」と言われ解雇されそうになりました。二度目の挫折です。これでは今までの自分と変わらないという悔しさから、「死ぬ気で仕事をして、会社が手放せなくなる存在になろう」と決心し、新しく任された住宅営業を必死に取り組みました。結果、19歳の1年間で注文住宅・分譲住宅併せて13棟・3億円以上を受注しました。契約を取るたびに社長や仲間たちが喜んでくれる姿を見て「自分に価値がある」ことを実感しました。その後活躍を続け会社も急成長し、29歳で最年少の取締役役に抜擢されました。33歳になり、不動産仲介業で独立起業を果たしましたが、直後の2008年9月にリーマン・ショックが発生し、住宅業界は氷河期となりました。会



社員時代に必死に貯めた1,200万円もあつという間に底をつき一時は廃業も考えました。これが三度目の挫折です。何とか回避はしたものの、新しいビジネスモデルに転換しなければ会社を存続できないと危機感を抱き、その時に目を付けたのが農耕型ビジネスである、単品リピート通販でした。リピート通販で扱う商品には化粧品が向いている、特に悩みを解決していく商品であればお客様に喜ばれ、安定的に顧客を獲得できると考えました。それが現在ヒット商品となっているお尻のニキビや黒ずみをケアする、ピーチローズです。最初は月商1万円と全く売れませんでした。広告戦略と口コミにより、あつという間に月商1,000万円となり、年商は一億円、二億円、三億円と毎年成長し、事務所も6帖一間のマンションの一室から立派なオフィスビルに入ることが出来ました。

しかし、順調な業績の裏では思わぬ落とし穴がありました。仕事を現場に任せていたところ、いつの間にか社員同士に派閥ができ人間関係が亀裂が入り、去年は半数の社員が会社を去っていきました。このままではいけない。社員たちが目線を合わせ、同じ方向を目指せるようにしなければと考え、コンサルのサポートを受けながら1年かかりで、経営理念、事業理念を創り、ブラッシュアップしてきました。

幸せに働いている社員と、彼らを支える家族の幸せは、商品の向こう側にいるお客様にも届くはず。その見えないその部分を大切にしようと思いました。いまでは社内の全員が同じ方向を向いてくれたことで、スタッフが生き生きと働く一体感のある会社になりました。しかし、急激な市場の変化により今まで出ていた1億円近い営業利益が飛んでしまいました。懲りずに4度目の挫折です。そんなさなかではありましたが、お見合いで出会い、私がつらいときにも逃げずに支えてくれたパートナーと先月1月22日、オンリーワン夫婦の日に入籍をさせて頂きました。しかも妊娠4か月での授かり婚でした。

いよいよ今月は社員と一緒に温めてきた、新しい3つの商品がリリースとなります。社員の想いがいっぱい詰まったこの商品がきっと業績のV字回復を担ってくれると信じています。

1つめは足つり関連、2つめはワンちゃんの口臭ケアジェル、3つめは超敏感肌用の石鹸です。特許申請の関係で詳細は公開できませんが、改めてご紹介させて頂ければと思います。

今後も、社員の夢の実現に結び付く価値ある商品を展開し、通販事業を通じて大勢のお客様に笑顔と幸せをお届けし、社会貢献してまいりたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。